

春の特別企画展

うるわしき

The World of graceful Manyo Plants

万葉植物の世界

四季折々に花咲く植物に寄せた万葉びとの思い

会期:令和4年
4月20日(水)~6月27日(月)
TAKAOKA MANYO HISTORICAL MUSEUM
高岡市万葉歴史館



万葉集には160種を超える植物が登場し、約4500首の歌のうち3分の1の歌に植物が詠み込まれていると言われています。そうした万葉植物を、万葉学者 犬養 孝(大阪大学名誉教授・高岡市万葉歴史館名誉館長)の教え子で猪名川万葉植物園(兵庫県川西市)オーナーである木田 隆夫氏の写真と共に紹介します。

四季折々に花咲く植物に込められた万葉びとの思いを、第一線で活躍中の万葉学者による解説と合わせてご堪能ください。

木田 隆夫(きだ・たかお)

昭和20年(1945)兵庫県生れ。大阪大学大学院工学研究科醸酵工学専攻修士課程修了。学術博士(神戸大学)。大学の講義で万葉集に興味を持ち、味の素株式会社中央研究所に就職後も、全国の万葉歌碑を訪ね歩いた。退職後、裏山を手入れを兼ねて万葉集に登場する約160の植物を目標に種類を増やす。山林約1300平方メートルと畑約2900平方メートルからなる猪名川万葉植物園を平成18年(2006)に開園。主な著書『猪名川万葉植物園だより』・坂本信幸監修『鑑賞事典万葉植物の歌』(写真提供)。HP「猪名川万葉植物園四季の写真」

<https://blog.canpan.info/inagawamanyo/>

※植物園は事前予約制

(問い合わせ TEL:072-793-1821 Eメール:takao_kida@jttk.zaq.ne.jp)



万葉体感エリア

(プロジェクションマッピング「大伴家持と越中万葉の世界」)

一交通のご案内一

◆最寄り駅JR氷見線 伏木駅から

【当館までの距離約1.5km】 タクシーで約5分、徒歩約25分

◆JR・あいの風とやま鉄道 高岡駅から

【バス】高岡駅前(北口)4番のりば

加越能バス伏木方面(西回り)・伏木方面(東回り)のいずれかに乗車(約30分)し「伏木一の宮バス停」で下車、徒歩約7分

【タクシー】約20分

※「北陸新幹線 新高岡駅」と「JR・あいの風とやま鉄道 高岡駅」の間は、10分間隔でバス便があります。(所要時間約10分)

◆お車で

【能越自動車道】高岡北インターから約20分

高岡インターから約25分

【北陸自動車道】小杉インターから約35分

高岡砺波スマートインターから約35分



高岡市万葉歴史館

〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮 1-11-11 電話 0766-44-5511 FAX 0766-44-7335
E-Mail:manreki@takaoka-bunka.com <https://www.manreki.com>

歴史館の最新情報、日々の出来事はツイッターで 家持くん@manreki いけぬし君@kenushi おおいらつめちゃん@oiratsume 万葉人・高岡市万葉歴史館館長@akahitomusimaro